令和６年度

石見智翠館高等学校
一般入学検定試験

国　語

［注意事項］

１．解答用紙は、この冊子にはさんであります。
　　まず解答用紙を取り出して、受検番号を記入すること。

２．解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。記入方法を
　　誤ると得点にならないので十分注意すること。

３．試験終了後、問題用紙は回収するので持ち帰らないこと。

【第一問題】

次の**問一**～**問二**に答えなさい。

問一　次の1～4の傍線部の読みを、それぞれ**ひらがな**で答えなさい。

1　試合で惜敗する。
2　苦渋の決断をする。
3　再三の失敗に懲りる。
4　手の傷が治癒する。

問二　次の1～4の傍線部のカタカナの部分をそれぞれ**漢字**で書きなさい。ただし、楷書で丁寧に書くこと。

1　現場からトウソウする。
2　コヨミの上では春だ。
3　オクビョウな性格の犬。
4　驚いて言葉にツまる。

【第二問題】

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

産業用のロボット技術も、日本は世界最高峰の水準を誇っています。（　　Ⅰ　　）自動車の組み立て工程で導入されているロボットは、複数台のロボットが連携して、車体の塗装や溶接からその検査までを同時に進めることが可能です。人と同様に両腕を持ち、製品の細かい組み立て作業をこなすロボットもあります。

こうした技術が評価され、現在、世界中で働く作業用ロボット約一〇〇万台のうち、その三分の一以上にあたる約三六％を日本製が占めています。（中略）

このような例はほかにもたくさんあります。日本の下町の小さな工場が、じつはある分野でダントツの市場占有率（シェア）を誇っていた、というケースも珍しくありません。

日本としては、政策面での後押しも含めて、その宝ともいうべき高い技術力を維持・発展させるような仕組みをつくっていく必要があるのです。

①こうした日本の強みを最大限に活用する際、とくに考えるべき点があります。

それは、日本がその得意分野で、自国に有利な「②世界標準」をつくっていく必要がある、ということです。

世界標準とは、簡単にいえば、ある特定の分野で、各国が従わなければならない基準のことを指しています。企業の経理における国際会計基準などが、その代表的な例です。この世界標準がどのようなものになるかによって、技術や品質とは別の次元で、ある製品・商品やサービスが成功できるかどうかが決まってしまうケースもあります。

その世界標準に関して、今後の日本経済と関係しそうなもののひとつに、※先ほど紹介した高速鉄道があります。たとえばそのサイズです。

日本の新幹線では、Ｎ７００系であれば、車高が三・六メートル、車幅が三・三六メートル、二本のレールの間隔である軌間が一・四三五メートル、ホームの高さは一・二五メートルと、そのサイズが決まっています。ほかの新幹線もそれに近い大きさです。これに対して、フランスのＴＧＶ-ＳＥ※は軌間こそ一・四三五メートルと同じですが、車高三・四二メートル、車幅二・八一四メートル、ホームの高さ〇・五五メートルと、ひとまわり小型です。

駅など鉄道関連の設備は、鉄道のサイズによって大きく影響を受けます。このため、いったんＴＧＶを採用した国は、その後もＴＧＶを購入しようとするでしょう。その後、いくら高性能の新幹線が登場したとしても、その国の高速鉄道に新幹線が導入される可能性はとても低くなります。最初がとても大切なのです。近年、高速鉄道を導入しようとする国が増えています。（　Ⅱ　）その初期の段階で、多くの国がＴＧＶを導入し、それに合わせて駅などをつくるようになれば、ＴＧＶのサイズが世界標準となってしまう可能性があります。いったん、ＴＧＶが世界標準になりそうだということになれば、これから高速鉄道を導入しようとする国は、隣国との高速鉄道の乗り入れなども考えて、ＴＧＶの採用を最初に検討するでしょう。これは、鉄道の［　③　］とは関係ない次元での話です。日本は、高速鉄道などの分野の輸出において、この世界標準を獲得するための努力がとても重要になってくるのです。

こうした状況の中で、各国とも自国の得意分野を世界標準にするために④しのぎを削っています。日本としては、強みを活かしたい分野で、自国の優位性を保てる世界標準をつくるために努力することを忘れてはなりません。日本はこれまで、世界標準をつくることがヘタだといわれてきました。（　Ⅲ　）今後は、単に高い技術水準を維持し、発展させるだけでなく、⑤この点にこそ注力していく必要があるのです。

（眞淳平「世界の国　1位と最下位　――国際情勢の基礎を知ろう」一部改変による）

（注）※先ほど紹介した…本文より前の部分で筆者は高速鉄道について紹介している。

※ＴＧＶ-ＳＥ…フランス国鉄が運行する高速鉄道ＴＧＶの初代の車両。

問一 空欄Ⅰ～Ⅲに入る最も適当な語を次の**ア～オ**の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア もし　**イ** あるいは　**ウ** たとえば　**エ** しかし　**オ** それなのに

問二 傍線部①「こうした日本の強み」とは何か。指し示す内容を**二十字以内**で答えなさい。（句読点を含む）

問三 傍線部②「世界標準」とあるが、高速鉄道の場合、その「サイズ」が世界標準となることが重要なのはなぜか。次の形式に合うように、**三十字以内**で答えなさい。（句読点を含む）

（　　）ため、一度採用された後に別のサイズの鉄道が導入される可能性はとても低いから。

問四 空欄 ③ に入る言葉を、文中の同じ段落から**二字**で抜き出して答えなさい。

問五 傍線部④「しのぎを削って」の使い方として正しいものはどれか。最も適当なものを次の**ア～エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア 早朝から一人でしのぎを削って検証を重ねる。

イ しのぎを削ってしまい大きなミスをする。

ウ 困った時はしのぎを削って助けてくれる。

エ 優勝候補のチームがしのぎを削っている。

問六 傍線部⑤「この点にこそ注力していく必要がある」とあるが、日本はどのようなことに注力する必要があるのか。次の形式に合うように、文中から**三十字**で探し、その初めと終わりの**五字**を抜き出して答えなさい。（句読点を含む）

日本は（　　）ことに注力する必要がある。

【第三問題】

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

唯一の家族だった母、幸子（さちこ）を震災でなくして傷心する小学六年生の早紀（さき）は、初めて会う祖父と二人暮らしをすることになり、新しい生活に不安を感じながらもようやく母との思い出に向き合う気持ちになってきた。

「なにを彫る？」

そこではじめて、おじいさんはきいた。

すこし考えて、答えるかわりに早紀は立ちあがると、納屋（なや）に行き、段ボール箱から一さつのアルバムをさがしだしてきた。

大震災のあと、①開くことができなかったアルバムには、ママの地方公演の思い出の写真がはりつけてある。その中にひときわ大きく引きのばした、『星の王子さま』の舞台のラストシーンの写真があった。

――白いスポットライト。すっと、真上にのびた腕。

王子さまをしたって空をあおぐラストシーンに、見ていた早紀の目にも涙があふれたのをおぼえている。

早紀は、おじいさんに写真を見せた。

「これが、幸子か？」

おじいさんは、しんけんな表情でじっと写真を見つめた。

②「おどろいたな。これを彫るのか。」

早紀はうなずいた。

「きのうのお菓子だって、ママに供えてあげたかったけど、仏だんにはママの写真もなくて……。だから、ママを彫って、ママの代わ

りにしたい……。」

おじいさんは、③しばらくだまったまま、ママの写真に視線を落としていた。それから急に立ちあがって、母屋（おもや）の冷蔵庫から缶入りサイダーを持ってくると、早紀の前に置いた。

早紀はサイダーを飲みながら、おじいさんの彫りかけの作品に目をやった。

「犬を彫っている。」

おじいさんは、すわりなおすと、

「犬ならモデルがいるので、彫りやすい。」

と笑った。

「クロを彫るの？」

「ああ。ここの地元の犬だし、体の形もいい。」

「ペンションには、ゴールデンレトリバーがいるよ。大きくてかしこいんだよ。そういう犬も、彫ってあげたら小池（こいけ）さんもよろこぶよ。」

「じゃあ、つぎはそういう犬にしよう。毛の長いのは、腹のくびれを彫らないぶん、楽だ。④それにしても、早紀が幸子を彫るとはな。」

「でも、むずかしいんだね。彫刻って。」

「人間を彫るのは、手足にも表情があるから、いちばんむずかしいかもしれん。どうだ、大まかな形だけは、わしが彫るとしよう。細かいところは早紀が彫ればいい。」

「ほんと？」

木を彫ることのむずかしさをはじめて知った早紀は、おじいさんの提案にほっとして、それからサイダーを飲みほした。

八月になると、昼下がりのアブラゼミの声に、ねばるようなミンミンゼミの声が混ざる。暮れ方のヒグラシの声はますます澄んで、

早紀はなぜか、深い森の中にひとりとりのこされたような気持ちになるのだった。

津波におそわれた東北地方の町も、テレビに映る時間がしだいに短くなり、早紀の中で、ママと暮らした毎日の記憶がすこしずつ、あざやかさを失っていった。

朝のベーコンを焼くにおい。食器のぶつかる音。夕方の商店街のにぎわい……あたりまえに、毎日くりかえされた生活の記憶が、⑤ゆっくり静かに、音もない海の底に沈んでいくみたいだった。

だから早紀は、ママの代わりがほしかった。かたくて小さな、ママでよかった。

おじいさんは、一時間くらいで、ママの人形の大まかな形を彫りあげてくれた。

あとの細工は、早紀の手にまかされた。

学校の図工の時間に彫刻刀は使ったことがあったけれど、ゴム版しか彫ったことがない。木を彫るというのは、集中力が必要で、きんちょうすることだった。

それでも、だんだん慣れてくると、力の入れ方がわかってくる。

早紀はむちゅうで彫りつづけた。彫りつづけるうちに、写真の中のママよりもだいぶ太めだけれど、なんとか、人の形ができあがった。

「カキのしぶを塗っておこう。色がよくなるし、虫よけにもなる。」

おじいさんは、作業場の奥のたなから白いポリ容器を手に取って、中の茶色い液体を小皿に移した。苦いようなすっぱいような、鼻の奥をつんとさすにおいに、早紀は、顔をくしゃくしゃにした。

おじいさんはそれを見て、ははっと笑い、絵筆にしぶをたっぷりふくませると、早紀の彫ったママに塗った。

ママの人形は、あめ色に染まった。

（森島いずみ「パンプキン・ロード」一部改変による）

問一 傍線部①「開くことができなかった」とあるが、それはなぜだと考えられるか。最も適当なものを次の**ア～エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア いつかおじいさんとともに開こうと思っていたため、タイミングを見失っていたから。

イ 大切に納屋にしまっていた物を、おいそれと開けるものではないと考えていたから。

ウ アルバムを開いたらママのことを思い出して、耐えている悲しみがあふれ出るから。

エ 大切なママとの思い出が残っているので、おじいさんには見られたくなかったから。

問二 傍線部②「おどろいたな。これを彫るのか」とあるが、おじいさんは人間を彫るのは非常にむずかしいと考えている。その理由を文中から**十一字**で抜き出して答えなさい。（句読点を含む）

問三 傍線部③「しばらくだまったまま、ママの写真に視線を落としていた」とあるが、これを文節で分けるとどうなるか。最も適当なものを次の**ア～エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア しばらく／だまった／まま、／ママの／写真に／視線を／落として／いた

イ しばらく／だまったまま、／ママの／写真に／視線を／落として／いた

ウ しばらく／だまった／まま、／ママの／写真に／視線を／落としていた

エ しばらく／だまったまま、／ママの／写真に／視線を／落としていた

問四 文中の$\boxed{\text{ない}}$と文法上の働きが同じものとして、最も適当なものを次の**ア～エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア 日々健康でつつがない生活を送る。

イ 勉強中に居眠りをしない。

ウ カバンに入れたはずの本がない。

エ この映画はおもしろくない。

問五 傍線部④「それにしても、早紀が幸子を彫るとはな」とあるが、早紀が幸子を彫りたいのはなぜか。**四十字以内**で答えなさい。（句読点を含む）

問六 傍線部⑤「ゆっくり静かに、音もない海の底に沈んでいくみたい」とあるが、これは何をたとえた表現か。次の形式に合うように、**十字以内**で答えなさい。（句読点を含む）

ママの思い出が（　　）様子。

問七 本文の内容として正しいものを次の**ア～エ**の中から**すべて**選び、記号で答えなさい。

ア 幸子は『星の王子さま』の舞台で好演し、そのラストシーンで早紀は感動のあまり涙を流した。

イ おじいさんは現在、ペンションで飼っているゴールデンレトリバーのクロを彫っている最中である。

ウ 早紀は今まで彫刻刀など使ったことがなく、苦労した挙げ句に写真のママとはかなり異なるものになった。

エ おじいさんは早紀が彫り終えたママの人形の色をよくするためにカキのしぶを塗ってあめ色に染めた。

【第四問題】

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

姫君に恋する中将が、侍従とともに都を離れた姫君を探して住吉（すみよし）まで来たところ、琴の音が聞こえてきた。音に導かれて行ってみると、そこで侍従とともにいる姫君を偶然にも探しあてる場面である。

「あなゆゆし。人のしわざには〈よもやあるまい〉よも」など思ひながら、その音に誘はれて、何となく立ち寄りて①聞き給へば、釣殿（つりどの）の西面に若き声一人〈すばらしい〉二人がほど聞こえてけり。琴かき鳴らす人あり。

「冬はをさをさしくも〈なじめませんでした〉侍りき」「このごろは、松風、波の音も②なつかしくぞ」「都にてはかかる所も見ざりしものを」「あはれ、③心あり〈侍従の声だと聞き分けて〉し人々に見せまほしきよ」とうち④語らひて、「秋の夕べは常よりも、旅の空こそあはれなれ」など、をかしき声してうちながむるを、〈口ずさむ〉侍従に聞きなして〈驚いた〉、「あなあさまし」と、胸うち騒ぎて、⑤「聞きなしにや」とて聞き給へば、

尋ぬべき人も渚（なぎさ）の住（すみ）の江（え）にたれ［　⑥　］の絶えず吹くらん

とうちながむるを聞けば、姫君なり。

（「住吉物語」による）

問一　傍線部①「聞き給へば」・傍線部④「語らひて」の**現代仮名遣い**を**ひらがな**で答えなさい。

問二　傍線部②「なつかしく」の意味として、最も適当なものを次の**ア～エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　うとましく　　**イ**　平然として　　**ウ**　思い出深く　　**エ**　親しみ深く

問三　傍線部③「心ありし人々」とは、どのような人々を指しているか。**十五字以内**で答えなさい。（句読点を含む）

問四　傍線部⑤「聞きなしにや」の意味として、最も適当なものを次の**ア～エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　侍従ではなく姫君の声を聞きたいと望んだからだろうか。

イ　侍従だという自分の思い込みでそう聞こえるのだろうか。

ウ　かつて聞いた侍従の声は果たしてこんな声だっただろうか。

エ　侍従と姫君が一緒にいる事実を確信できたからだろうか。

問五　空欄 ⑥ に入る言葉を、文中から**二字**で抜き出して答えなさい。

【第五問題】

近年外国人観光客が増えているが、あなたなら日本について彼らにどのように説明するか。「日本の魅力」というテーマで、次の指示に従って作文を書きなさい。

1　百五十字以上二百字以内でまとめること。
2　原稿用紙の正しい使い方に従うこと。
3　題名や氏名は書かないこと。
4　段落は変えないこと。